

# 世界小型株厳選ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：世界小型厳選

2021年1月26日から2021年7月26日まで

第 5 期 決算日：2021年7月26日



## 受益者の皆さまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界小型株厳選マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 第5期末(2021年7月26日)

基準価額	16,703円
純資産総額	2,662百万円
第5期	
騰落率	+15.7%
分配金	400円

\*騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

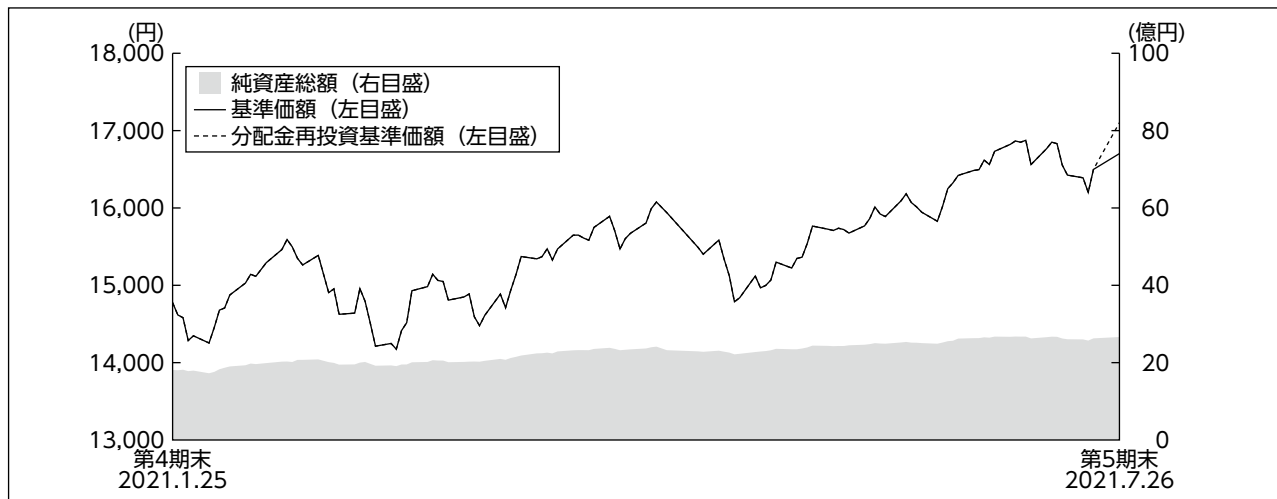
コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

## 基準価額等の推移



\* 当ファンドにはベンチマークはありません。

\* 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第5期首：14,776円

第5期末：16,703円（既払分配金 400円）

騰落率：+15.7%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界小型株厳選マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資を行いました。

#### (上昇要因)

米国の家庭用・事業用バックアップ発電機のトップメーカーのGenerac Holdings, Inc.は、直近の業績結果や業績のガイダンスがともに市場予想を大幅に上回ったことなどが要因で上昇しました。英国のデジタルメディア・プラットフォーム企業のFuture PLCは、デジタルデータマネジメント業界の変化の恩恵を受けることが期待され上昇しました。また、フィンランドの食品小売り大手のKesko Oyjは、同社のコア事業が市場予想を上回る良好なパフォーマンスを示すなかで、収益の拡大期待が高まり、良好なパフォーマンスを示しました。

#### (下落要因)

米国の在宅医療介護サービス企業のAmedisys, Inc.は、マイナスに作用しました。同社が発表した業績見通しは市場予想と一致していたにもかかわらず、同社のホスピスの平均在院日数が減少していることに対する投資家の懸念が強まったことなどから下落しました。米国のオンライン教育会社のChegg, Inc.は、当期後半に急落しました。また、日本のエンジニア派遣会社のテクノプロ・ホールディングスも、市場予想を上回る良好な業績結果を発表し、さらに業績予想を上方修正したにもかかわらず、弱含みました。

1万円当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021年1月26日~2021年7月26日		
	金額	比率	
信託報酬	148円	0.965%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,365円です。
(投信会社)	( 83)	(0.538)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	( 63)	(0.411)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料 (株式)	4 ( 4)	0.026 (0.026)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	6 ( 6)	0.038 (0.038)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	24 ( 23)	0.156 (0.149)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.007)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	182	1.186	

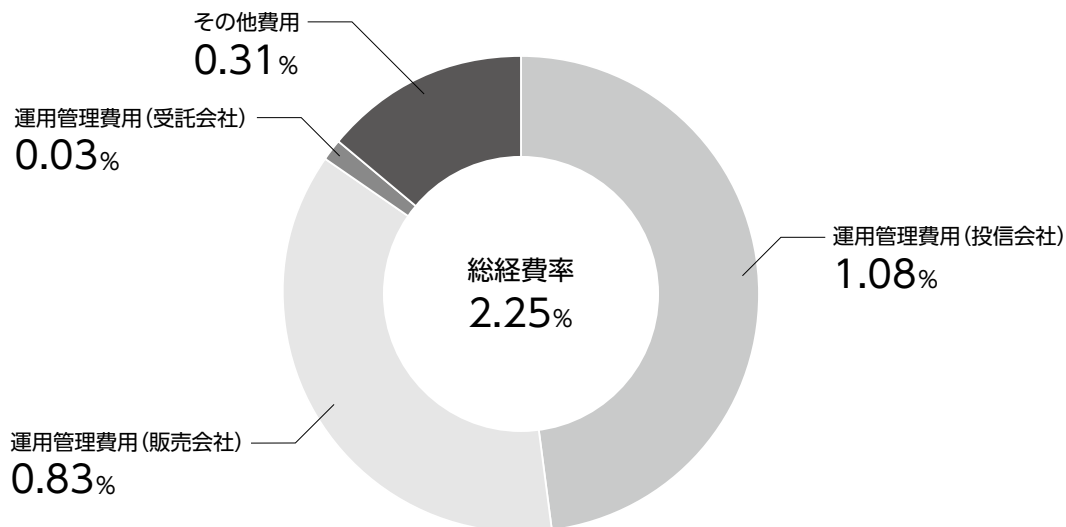
\* 「比率」欄は1万円当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



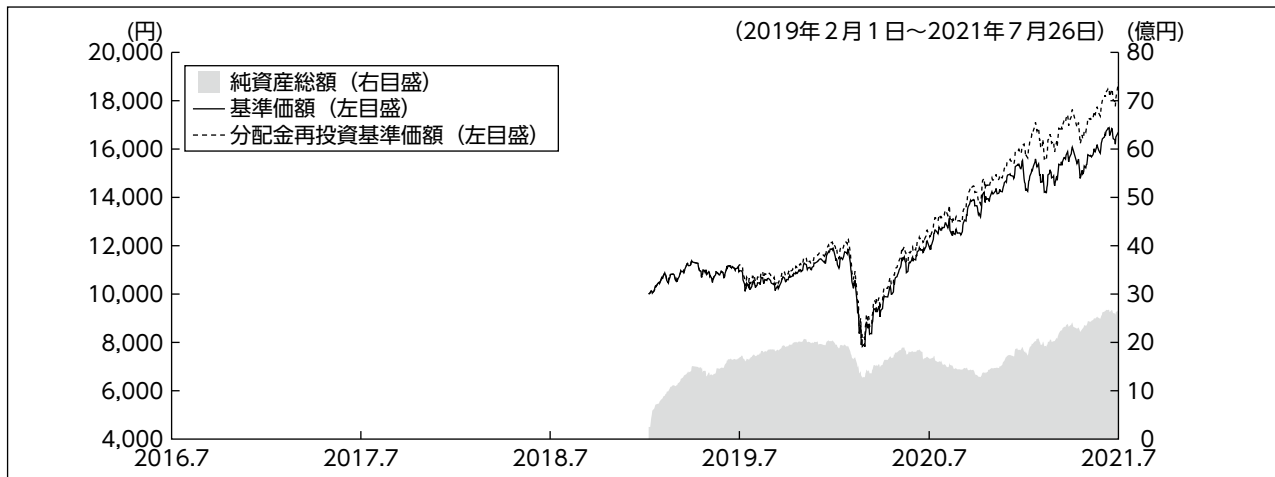
\*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

\*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.25%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移



\* 当ファンドの設定日 (2019年2月1日) より表示しております。

\* 設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\* 当ファンドにはベンチマークはありません。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

		2019年2月1日 設定日	2019年7月25日 決算日	2020年7月27日 決算日	2021年7月26日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,925	11,889	16,703
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	250	200	1,200
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	11.8	10.7	51.6
MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算) 騰落率	(%)	—	5.7	△4.7	52.6
純資産総額	(百万円)	250	1,667	1,659	2,662

\* MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

### ● 参考指数に関して

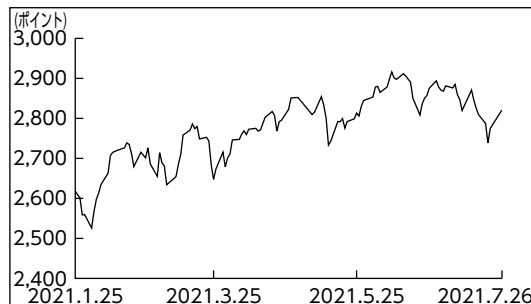
\* MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算) とは、MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み、米ドルベース) を委託者が円換算したものです。

\* 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 投資環境

当期、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な大流行）の話題がニュースの見出しを独占し続けたにもかかわらず、グローバル株式市場は大幅に上昇しました。当初は、世界経済を下支えするために実施された財政・金融両面での異例な水準の景気刺激策によってインフレ率の持続的な上昇が引き起こされるのではとの懸念が高まるなかで、景気回復への期待を背景に2020年末から続いたモメンタムが失速しました。その結果、世界的に債券が売られたことを受けて、世界経済の脆弱な景気回復が危うくなるのではとの懸念に拍車がかかりました。しかしながら、新型コロナウイルスのワクチン接種の展開が概ね成功していることや、良好な企業業績、世界の主要な中央銀行が安心感を与える声明を発表したことなどを背景に、投資家心理は改善に向かいました。インドでは新型コロナウイルスの感染が驚異的な勢いで拡大し、また他の多くの地域でも感染が再拡大したにもかかわらず、世界経済は順調に回復を続けました。一部の旅行関連分野では依然として厳しい状況が続いていますが、その一方で新型コロナウイルスのワクチン接種の展開は世界中で加速を続けています。ワクチン接種の加速によって、ビジネス活動が再開され、また景気回復の裾野が広がっています。当期の後半には、新型コロナウイルスのデルタ型の感染が急速に拡大したことで、景気回復の力強さに対する疑念が生じました。こうした状況を背景に、長期金利が低下するなかで、グローバル株式市場におけるけん引役が逆転し、グロース株（成長株）がアウトパフォームしました。

MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み) の推移



## ポートフォリオ

### ■世界小型株厳選ファンド

主要投資対象である世界小型株厳選マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な株式組入比率は98.3%としました。

### ■世界小型株厳選マザーファンド

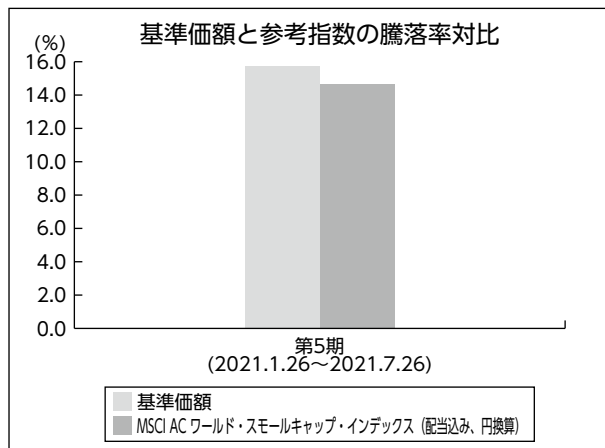
当期の騰落率は、+17.0%となりました。

オートメーション、エネルギー、産業プロセス、電力ソリューションの各領域における工業製品や技術ソリューション提供に特化したスウェーデンの技術事業会社のAddtech ABを新たに組み入れました。さらに、米国の特殊車両製造のトップメーカーであるThe Shyft Group Inc.ならびに、イタリアのIT（情報技術）企業のReply SpAの2銘柄を新たに組み入れました。

一方、オーストラリアのデータ・アノテーション会社のAppenを売却しました。金融機関に資産管理ソリューションを提供する米国のコンピューターソフトウェア会社のEnvestnet, Inc.も売却しました。また、中堅中小企業を対象とした日本のM&A（企業合併・買収）仲介会社の日本M&Aセンターも売却しました。

## ベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



\* 基準価額の騰落率は、分配金込みで計算しております。

## 分配金

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当り400円（税込み）とさせていただきます。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第5期	
	2021年1月26日 ~2021年7月26日	
当期分配金	(円)	400
(対基準価額比率)	(%)	2.34
当期の収益	(円)	400
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,702

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 2 今後の運用方針

### ■世界小型株厳選ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

### ■世界小型株厳選マザーファンド

当期、新型コロナウイルスのワクチン接種の展開により経済活動が再開するなかで、株式市場のけん引役が変わりました。日本はワクチン接種の実施において世界の他の国や地域に追い付きつつあることから、日本株が上昇局面に入ると予想しています。

当ファンドでは、景気刺激策主導の景気回復局面はほぼ一巡したとみており、今後に関しては、各社の前年との比較が一層難しくなると考えています。したがって、投資家は企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）を重視した銘柄選択に戻っていくとみています。景気サイクルのこの段階では通常、ROE（自己資本利益率）、業績見通しの修正、収益の伸びなどが株価を押し上げる要因となります。投入コストが上昇し、流動性が逼迫する環境下においては、コスト増を転嫁できるかといった明確な競争優位性を有しているかといった点に着目することが理にかなっています。同様に、財務の健全な企業も事業に投資し成長を生み出す態勢が十分整っていると考えています。

当ファンドは、クオリティ株、グロース株、モメンタム株を選好しており、こうした魅力的な投資機会を数多く提供しています。

### 3 お知らせ

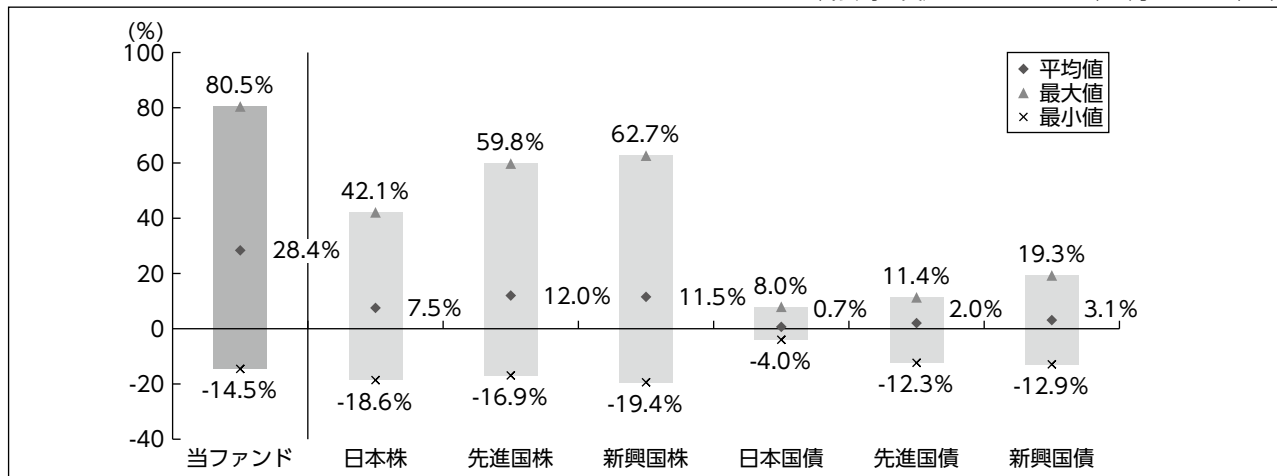
該当事項はございません。

### 4 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年2月1日～2029年1月25日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	世界小型株厳選マザーファンド受益証券
	世界小型株厳選マザーファンド	世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用はファミリーファンド方式で行います。</li> <li>・ボトムアップアプローチによるファンダメンタルズ分析により、投資魅力のある銘柄に厳選投資します。</li> <li>・実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎年1月、7月の25日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

## 5 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンド：2020年2月～2021年6月  
 代表的な資産クラス：2016年7月～2021年6月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

- \* 当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。
- \* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- \* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- \* 騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### <各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

## 6 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

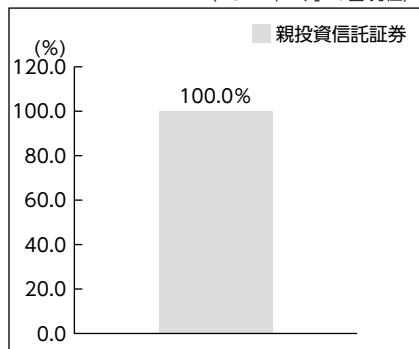
#### 【組入ファンド】

	第5期末 (2021年7月26日)
	組入比率
世界小型株厳選マザーファンド	100.0%

\* 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### 【資産別配分】

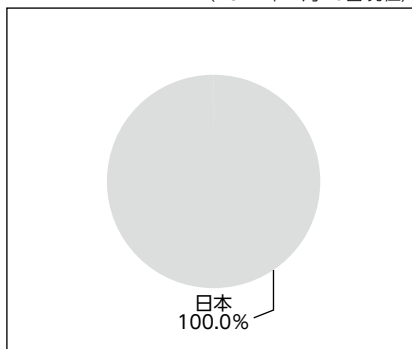
(2021年7月26日現在)



\* 純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

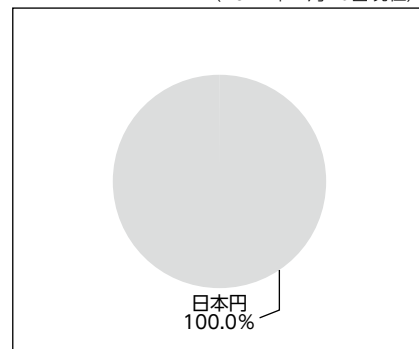
(2021年7月26日現在)



\* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2021年7月26日現在)



\* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

### 純資産等

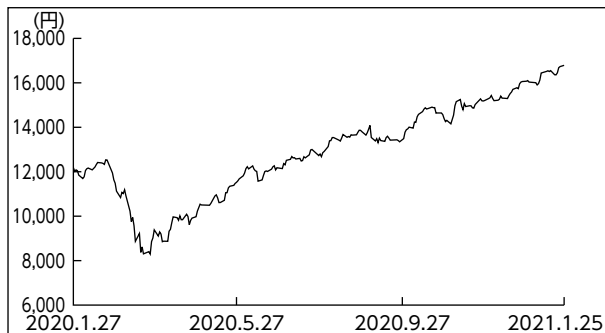
項目	当期末
	2021年7月26日
純資産総額	2,662,592,823円
受益権総口数	1,594,118,986口
1万口当り基準価額	16,703円

\* 当期中における追加設定元本額は695,680,639円、同解約元本額は326,560,876円です。

組入ファンドの概要

■世界小型株厳選マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当りの費用明細】

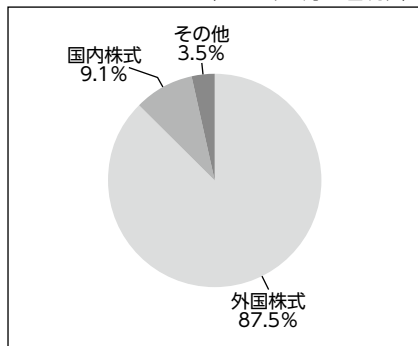
(2020年1月28日～2021年1月25日)

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	9円 ( 9)
有価証券取引税 (株式)	8 ( 8)
その他費用 (保管費用) (その他)	41 (40) ( 1)
合計	58

\*費用項目については、3ページの項目の概要をご参照ください。  
 \*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 \*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【資産別配分】

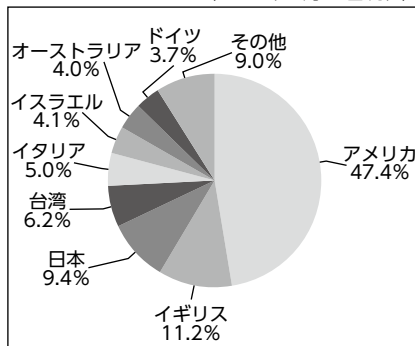
(2021年1月25日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

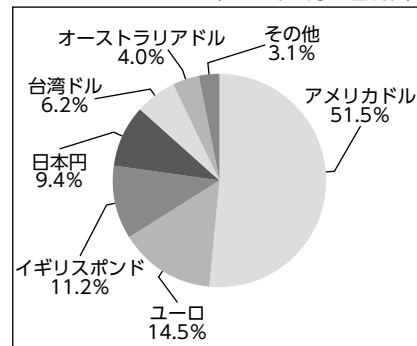
(2021年1月25日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2021年1月25日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

銘柄名	国名	業種名	比率
1 AXON ENTERPRISE INC	アメリカ	資本財	4.1%
2 KORNI DIGITAL LTD	イスラエル	資本財	4.0%
3 GENERAC HOLDINGS INC	アメリカ	資本財	4.0%
4 CHEGG INC	アメリカ	消費者サービス	3.6%
5 AMEDISYS INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	3.3%
6 SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	アメリカ	資本財	3.1%
7 SINBON ELECTRONICS CO LTD	台湾	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.9%
8 POOL CORP	アメリカ	小売	2.9%
9 INSULET CORP	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.9%
10 FLOOR & DECOR HOLDINGS INC-A	アメリカ	小売	2.9%

\*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(組入銘柄数 47銘柄)

※全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。